

10年間毎日のように使ってきた羽毛ふとんの中身は
さまざまな汚れやカビ、羽毛のくずでいっぱいです。

羽毛ふとんをリフォームしよう

羽毛布団を10年以上使うと
このような現象になります

- 羽毛布団がへたってきた
- 側地が汚れて、破れてきた
- 中で羽毛が偏っている
- 羽毛が吹き出している



良い羽毛を使った羽毛布団はリフォームして仕立て直しましょう。
新品のようによみがえりますし、資源の有効活用にもなります。



羽毛布団
リフォーム専用
サイトは
こちらから→



羽毛布団リフォームの目安は10～12年

■羽毛を取りだして中身をチェック

お持ちいただいた羽毛布団から羽毛を少し取りだして、3000枚以上羽毛布団のリフォームを行ってきた羽毛のプロが、羽毛の状態をチェックして、リフォームできるかどうかを判断します。



■使う人に合わせた最適なリフォームプランをご提案します

毎日使うのか、たまのお客様用か
暑がりの子どもや若い人が使うのか
寒がりで冷え性の女性が使うのか
使う人や住環境によって、仕上げる厚さも変わってきます。カウンセリングをしながら最適なプランをご提示いたします。

国内最高レベルの羽毛工房ダウンラボ



眠りのプロショップSawadaの羽毛工房ダウンラボはドイツLorch社の羽毛リフレッシュマシンに加え、除塵、オゾン処理、二筒式の羽毛計量+サイクロン式充填設備を備えた、店舗設置としては国内最高レベルの機材を揃えています。

ここで羽毛のプロが、羽毛の解体から洗浄・除塵、新しい側への充填まで、羽毛の状態を都度確認しながら、リフォームの作業を行います。外注に出さない、安心の羽毛布団リフォームなのです。

羽毛布団リフォームの手順

- ①羽毛布団を解体して、羽毛洗浄機に送る
- ②Lorch社羽毛洗浄機で直洗い (洗い1回すぎ2回)
- ③120℃で乾燥させながら、細かいホコリを除塵
- ④乾燥終了後オゾン処理で殺菌・脱臭
- ⑤分別機で、不良の羽毛ゴミや重いフェザーを分別
- ⑥除塵機で、羽毛ゴミを取り除く
- ⑦リフレッシュした羽毛の重量を計量
- ⑧リフレッシュで減った分の足し羽毛を行い
- ⑨サイクロン充填機でゴミを取りながら新しい側に充填
- ⑩羽毛入れ口を縫製して閉じて仕上がり



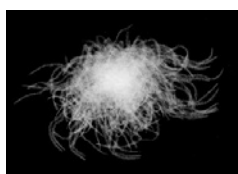
通常の1.5倍の時間をかけてリフォーム

自社で加工の全てを行ないます。そのため、一般の下請け工場の1.5倍の時間をかけ、じっくりと除塵を行ないながら、新しい羽毛ふとんに仕上げていきます。

良い羽毛は2~3度リフォームできます

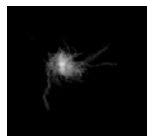
羽毛は農作物です。農場で飼育されたグースやダックから採取されますので、飼育状態や日数によって品質に大きな差がでます。良質な環境で長期間飼育された羽毛はダウンボールが大きく、壊れにくいので長く使うことができます。数回のリフォームによって可能です。30年以上使うこともできるのです。

16週以上飼育されたダウンボール



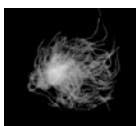
完全に成熟したダウンボールの中央部は密度が非常に濃いため、長期間の使用に耐えます。寒暖の差が大きい地域の方が大きいダウンボールになります。

未成熟ダウン



飼育環境が不十分だと多く見られます。成長途上のダウンなので、使用しているとすぐ壊れてファイバーというゴミになってしまいます。

8週飼育のダウンボール



8週間程度(日本へ輸入されるダウンの大半がこれです)では羽枝が生えそろっただけで、充分育っていないために、中央部の繋がりが粗いのです。使用しているうちに壊れていきます。

リフォーム加工は羽毛の通信簿

—良い羽毛はゴミが少ない

リフォームを行なうと、羽毛の良し悪しがはっきりできます。羽毛ゴミ(ダウンファイバー)や未成熟ダウンが多いとリフレッシュした後にごそっと減ります。リフォーム時の羽毛の回復を良くするためには、数年に一度丸洗いをすることも大切です。

体質に合わせた生地とキルティング、羽毛の量を選びましょう

側生地とキルティングで眠りが変わる

羽毛ふとんの側生地とキルティングは寝心地を大きく左右します。暑がりの方、寒がりの方、使う人の体質に合わせて側をお選びください。

軽くて、通気性の良い綿100%がベスト

羽毛の良さを活かすには、まず通気性が高いことが必要で、軽いと羽毛がふんわりふくらみます。

超長綿80平織 94g/m² 通気度2.6cc

ソフトで軽量の当店オリジナル生地です。60番手サテンに比べると30%も計量で、通気性も1.7倍あります。

超長綿100平織 85g/m² 通気度3.5cc

80番手平織よりさらに軽量で通気性の良い当店オリジナル生地です。良質の羽毛にはこちらがおすすめです。

おすすめしにくい生地

超長綿60サテン 136g/m² 通気度1.5cc

綿100%生地の代表格60番手サテンは比較的重い生地です。生地が重いと暖まり方が悪くなります。

TTC平織 ポリエステル 80%綿20% 102g/m² 通気度0.7cc

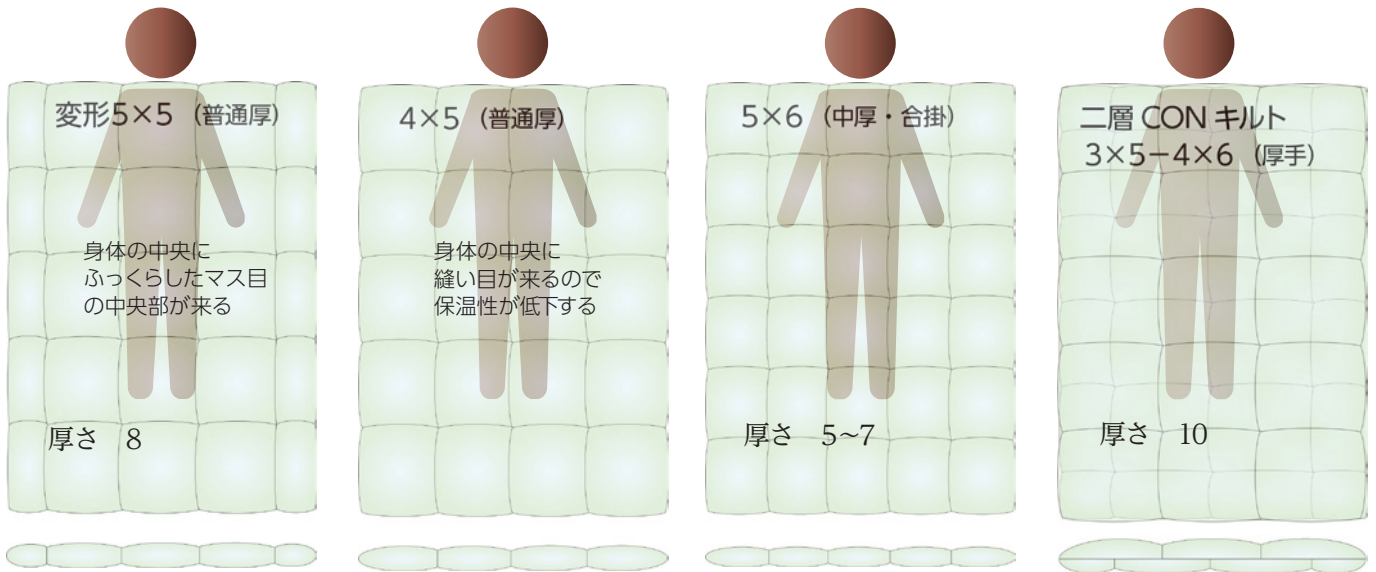
安い羽毛布団に使われるポリエステル混の生地は比較的軽量ですが、通気性が悪いために蒸れやすくなります。あまりおすすめできません。

おすすめ、フィット性と保温性を高めた変形5×5マスキルト

一番多く出回っている4×5キルトでは身体の中央部にキルトの縫い目が来てしまい、保温性が低下します。変形5×5キルトは、その欠点をなくし、身体へのフィット性を高めた当店おすすめのキルティングです。

暑がり体質や、都市部のマンション等に最適な中厚5×6マスキルト

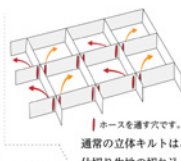
高気密高断熱住宅や、お子さまや若い男性など基礎代謝量が高く暑がりの方には、少し薄めの中厚仕立てが向いています。5×6マスならフィット性も良く、縫い目が多い分湿気も抜けやすくなります。



マス目間の移動のない完全立体キルト

完全立体キルト

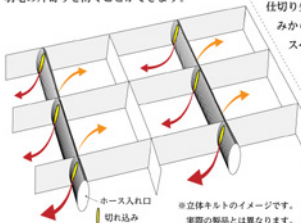
マスを仕切る生地を2枚合わせにして、羽毛充填用ホースを差し込む切れ込みの位置を左右のマスを交差することで、マス間の羽毛の移動がほとんどないキルトです。羽毛の片寄りを防ぐことができます。



羽毛布団は使っているうちにマス目間を羽毛が移動して片寄ったりすることがあります。

完全立体キルトはマスが独立しているため羽毛の片寄りがありません。

側生地によってはオプション加工となります。



寒がりなら二層構造でしっかり保温するCON二層キルト

旧来の日本建築で冬が冷える場合+寒がりな冷え性気味の方は中が二層構造になっていて、厚みが平均化され保温力がアップした二層CONキルトがおすすめです。

一般的な3×4-4×5式の二層キルトと違い、襟元の羽毛が片寄りにくいのが特徴です。

体質に合わせて10段階の厚さから最適なものをお選びいただけます

おトクな羽毛リフォームパック (国産側生地使用)

新しい側・足し羽毛(シングルで200gまで)・リフォーム工賃をセットしてお買い得パックを設定しました。羽毛の状態により、より多くの足し羽毛が必要になる場合があります。側生地は基本的に国産生地&国内縫製です。表記以外のサイズ(セミダブル・クイーン・キング・ジュニア・介護用等)も対応可能です。

■ベーシック軽量80平織SB80パック

軽量で通気性の良い超長綿80平織り生地を使い、足し羽毛には400dpのフランス・ピレネーのホワイトダックダウンを使用します。当店オリジナル生地・無地 普通厚仕上げ

シングル 特価 42,900円
ダブル 特価 59,900円

■オーガニックコットンTE135Gパック

GOTS認定を受けたドイツ・Weidmann社のオーガニックコットン生地を使い、足し羽毛にはホワイトグースダウンを使ったリフォームパックです。普通厚仕上げ

シングル 特価 59,900円
ダブル 特価 83,900円

■通常のリフォーム加工賃

元の羽毛布団のサイズが

シングル	13,200円
シングル掛・肌一括	18,700円
ダブル	18,700円
クイーン	20,900円
足し羽毛 (FPD90A 400dp) 100g	4,950円
足し羽毛 (KWG93 410dp) 100g	8,800円
足し羽毛 (HWG95 440dp) 100g	14,300円
完全立体キルトオプション シングル	5,500円

通常の計算方法は

リフォーム加工賃+新品側代+足し羽毛で計算します。

私たちは寝具のグリーン購入を推進しています

豊かな日本、しかしこの大量消費の使い捨て社会がいつまでもつづくはずがありません。さわだは、長く使って買い替えを少なくする、生分解する素材を使う、リフォームして使う、など地球環境に負荷をできるだけ与えないような寝具選びをおすすめしています。良質の天然素材を使うこと、農薬の使用を減らす素材を使うことなどです。子供たちの未来のために

■ダウナ等高級羽毛布団用SB100パック

インド超長綿100番手平織りで85g/m²と超軽量のオリジナル生地SB100を使った、高級羽毛布団用リフォームパックです。完全立体キルト仕様になっています。足し羽毛は440dpのハンガリーホワイトグースダウン。普通厚仕上げ

シングル 特価 86,900円
ダブル 特価 121,000円



■ハンパ超長綿80サテンお買い得パック

ハンパ側の超長綿80サテン側(変形5×5マス)を使用します。足し羽毛にリサイクルダウンを使用してお買い得になっています

シングル 特価 39,900円
★価格は税込価格です2025.5.1現在

睡眠健康指導士など眠りのプロが的確なアドバイスをいたします

日本で始めて睡眠を総合的講座である滋賀医科大学睡眠楽講座認定の睡眠健康指導士、睡眠と寝具の関係を研究している、日本睡眠環境学会認定の睡眠環境コーディネーター、睡眠環境診断士が、お使いになる方に合わせた的確なアドバイスを行います。

さらにスタッフ全員が米国Speciality Sleep Associationのプロフェッショナルスリープアドバイザーの研修を受けています。安心してご相談下さい。

